

日本食道学会より

## 『術後再発食道扁平上皮癌のリンパ節転移巣、遠隔転移巣に対する外科的切除の意義に関する全国実態調査』について

### ➤ 研究（調査）の目的と概略

食道扁平上皮癌の再発病変に対する外科的切除の有用性に関する報告は、少数例での検討に留まっており、その有用性や適応基準に関しては一定の見解が得られていないのが現状です。本研究は、全国的に食道癌の再発病変に対する外科的切除に関する実態調査を実施することにより、切除によって長期的な予後が期待できる患者さんの特徴及び傾向を明らかにすることです。

### ➤ 研究（調査）の方法

日本食道学会の各食道外科専門医認定施設における、現在まで食道扁平上皮癌の根治的切除後に再発を認め、再発病変に対し外科的切除が行われた症例を対象にデータを集積し、各症例において再発部位や、手術方法、治療成績(術後合併症、長期予後など)について解析を行います。解析結果をもとに、本邦における再発食道扁平上皮癌に対する外科治療の実態を調査します。

### ➤ 研究（調査）の参加施設

日本食道学会食道外科専門医認定施設

### ➤ 調査期間

調査期間（2006年1月1日～2015年12月31日） 研究期間（2017年10月16日～2019年3月31日）

### ➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、2006年1月1日～2015年12月31日に再発食道扁平上皮癌に対し手術を受けられた患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータについてアンケートを行い解析するものです。アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を守ります。

### ➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力に同意されなくても、患者さんに不利になることは一切ありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません。データの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

### ➤ お問い合わせ先

この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。

研究責任者：佐伯 浩司（九州大学大学院 消化器・総合外科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本食道学会 事務局

〒130-0012 東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階

TEL/FAX: 03-6456-1339

E-mail: [office@esophagus.jp](mailto:office@esophagus.jp)